

【舟形町】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

1人1台端末及び高速大容量ネットワークを中心とするICT環境を活用することで、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実による、主体的で対話的で深い学びの実現を目指す。特に、デジタルの優位性を生かすことで、児童生徒が学習の方法やツールなどを自分で選択し、多様な他者と協働しながら、学習者主体の学びを実現する。そして、すべての学習の基盤となる情報活用能力や、自己調整力の育成を目指す。

2. GIGA第1期の総括

令和元年よりGIGAスクール構想が始まり、本町では令和2年度にタブレットやネットワークの整備等を行った。それに伴いAIドリルや学習eポータルソフト面の導入、ICT支援員を配置し、児童生徒や先生の技術面・運用面のサポートを行った。それにより授業でのICTの活用が進んでおり、工夫した授業をされる教職員も出てきている。半面、ICTの活用度に温度差がある。これについてはICT支援員の活用や教員間での研修を増やすなど、改善の実施を行っていきたい。

3. 1人1台端末の利活用方策

(1) 1人1台端末の積極的活用に向けた目標

1人1台端末の積極的活用を進めるため、先進校の視察や全国の「リーディングDXスクール」指定校の成果を取り入れ、端末やクラウドを活用した授業づくりを推進する。

また、校内でのミニ研修会を随時開催しながらICT機器を活用した授業づくりを推進するとともに、ICT支援員の積極的な支援により、ICT機器を日常使いできる文房具として扱うことができるようにしていく。

(2) 個別最適・協働的な学びの充実

児童生徒が学習方法や学習過程等を選択し、自己調整しながら学習を進める姿や、教師が学びの伴走者として支援する姿の具体を全教員が共有できるように研修を実施する。そのことによって「児童生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面」「教職員と児童生徒がやりとりする場面」「児童生徒同士がやりとりする場面」「児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面」等での1人1台端末の活用率向上を目指す。

(3) 全ての児童生徒の学びの保障のために

端末が破損した場合でも、予備機の運用及び速やかな修繕を実施する体制を構築し、1人1台の端末環境を維持する。希望する不登校児童生徒へ端末を活用した授業への参加、希望する児童生徒への端末を活用した教育相談等、実態に応じた学びの保障を行っていきたい。